



2021年3月期第1四半期 決算短信補足説明資料

株式会社テリロジー



Securities code : 3356

会社概要



IS 97125 / ISO27001
EMS 513188 / ISO14001

- ◆社名：株式会社テリロジー
代表取締役会長 津吹 憲男
代表取締役社長 阿部 昭彦
- ◆本社所在地：東京都千代田区九段北1丁目13番5号
- ◆設立年月日：1989年7月14日
- ◆資本金：1,581百万円
- ◆売上高：4,051百万円（2020年3月期）
- ◆主な株主構成：役員、社員持株会
NTTファイナンス株式会社ほか
- ◆取引銀行：みずほ銀行、三井住友銀行
- ◆グループ社員数：152名（役員含む/2020年6月末現在）
- ◆関係会社：株式会社テリロジーワークス
株式会社テリロジーサービスウェア
VNCS Global Solution Technology Joint Stock
Company
（ベトナム国ハノイ市）
株式会社IGLOOO



テリロジー東京本社

2021年3月期第1四半期 業績説明

対前年同期比にて減収・増益

- 売上・受注** • 1億円超え大型案件の受注を獲得したものの、第1四半期での売上計上ならず**売上高は減少**

売上高	：	911百万円	(10.2%減)	103百万円減)
受注高	：	1,006百万円	(3.3%増)	31百万円増)
受注残高	：	396百万円	(22.7%増)	73百万円増)

(対前年比)

- 利益** • 新型コロナウイルス感染拡大での事業活動の中、利益率の向上及び経費の減少効果などにより**利益は増加**

経費：販管費等※：382百万円 (2.1%減 8百万円減)

※売上原価「技術人件費」含む

営業利益	：	67百万円	(32百万円増、前期 34百万円)
経常利益	：	66百万円	(23百万円増、前期 43百万円)
四半期純利益	：	38百万円	(25百万円増、前期 12百万円)

(対前年比)

損益計算書

対前年比にて減収・増益

(単位：百万円)	2020年3月期 第1四半期		2021年3月期 第1四半期	
	金額	金額	増減額	増減率%
売上高	1,014	911	△103	△10.2%
売上総利益	346	371	25	7.2%
販売管理費	311	304	△7	△2.5%
営業利益	34	67	32	94.9%
経常利益	43	66	23	53.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	12	38	25	200.2%
為替レート（ドル）	109.28円	107.62円		
1株当たり四半期純利益	0円80銭	2円35銭		
自己資本比率	48.2%	54.1%		

事業部門別実績 ネットワーク部門

国内大手製造業を中心のネットワークインフラ構築案件、
Radware製品の受注活動は堅調に推移

増収

売上高：239百万円
対前年同期比：49百万円増、増減率：26.1%増

■トピックス

- ・ 当社グループ主要顧客大手製造業に向けた業務系ネットワーク/
制御系ネットワーク（IT/OT）を統合した次世代ネットワーク基盤整備
 - ▶ ユーザ管理システム（DHCPサーバなど）構築案件・・・教育機関、国内企業など
 - ▶ セキュアなクラウド型無線LANシステム構築案件・・・国内製造業、国内建設業、
医療機関など
- ・ 今期から販売を開始したRadware製品
 - ▶ 教育機関、国内製造業などからネットワーク最適化案件の受注を獲得

事業部門別実績 セキュリティ部門

サイバー攻撃/不正アクセスの増加により、ネットワークセキュリティ案件、サイバースレットインテリジェンスサービスは堅調に推移

増収

売上高：363百万円

対前年同期比：15百万円増、増減率：4.4%増

■トピックス

- ・サイバー攻撃/不正アクセス対策のネットワークセキュリティ
 - ▶ ネットワーク不正侵入防御セキュリティ：国内大手モバイルキャリア、国内企業など
 - ▶ 標的型攻撃対策クラウドサービス・・・官公庁、教育機関、放送事業者など
 - ▶ ユーザ認証システム（ワンタイムパスワード）構築・・・官公庁、生命保険企業など
 - ▶ 企業内ネットワーク脆弱性診断サービス・・・大手ケーブルテレビ、国内企業など
- ・セキュリティリスクを分析する工場/ビル管理向け制御システム・OTセキュリティリスクアセスメントサービス
 - ▶ 国内重要インフラ事業者、国内大手製造業工場
- ・サイバー攻撃リスク増加によりサイバー犯罪、サイバーテロ等に関する情報を収集分析するサービス（サイバースレットインテリジェンスサービス）
 - ▶ 官公庁
- ・サプライチェーン、グループ企業のサイバーリスク可視化のリスクスコアサービス
 - ▶ 社会インフラ企業

事業部門別実績 モニタリング部門

当社が得意とするネットワークモニタリング分野では、
当社独自パケットキャプチャ製品の受注活動は堅調に推移

減少

売上高：109百万円

対前年同期比：164百万円減、増減率：60.0%減

■トピックス

- ・ 当社グループ独自のパケットキャプチャ製品採用のネットワークモニタリング案件
 - ▶ 官公庁、国内金融機関
- ・ ネットワーク性能管理製品採用のパフォーマンスモニタリング案件
 - ▶ 国内金融機関向けネットワークの可視化
- ・ 独自サービスのITシステム運用監視クラウドサービス
 - ▶ 当社グループの主要顧客を中心に受注活動は堅調に推移

■前年同期比との差異理由

当第1四半期連結累計期間に受注した自社パケットキャプチャ製品採用のネットワークモニタリング案件の売上計上が第2四半期連結累計期間ため売上高は減少。

新型コロナウイルス感染拡大により、在留外国人対応の「みえる通訳」、Zoomなどのビデオ会議は需要が増加

横ばい

売上高：198百万円

対前年同期比：4百万円減、増減率：2.2%減

■トピックス

- ・ **新型コロナウイルス感染拡大で在留外国人対応に「みえる通訳」の需要が増加**
 - ▶ 新型コロナウイルス感染拡大の影響で訪日外国人旅行者は減少するが、自治体、金融機関、医療機関での在留外国人対応に「みえる通訳」の需要が増加
- ・ **新型コロナウイルスの感染防止対策のZoomなどのビデオ会議/Web会議などの遠隔会議サービス**
 - ▶ ビデオ会議、モビリティ対応の新商品サービスラインナップ強化に努めたことで、新型コロナウイルスの感染防止対策の一つとして、人事・営業部門、医療機関、研究機関からの引き合いが増加
- ・ **法人向けクラウド管理型マネージドVPNサービス**
 - ▶ 新規案件の獲得などにより堅調に推移
- ・ **自社開発の究極的にカンタンなRPAツール「EzAvater」**
 - ▶ 販売代理店網の拡大強化とブランドの知名度向上のマーケティング活動に注力
- ・ **前期から販売を開始したAR（拡張現実）とAI（人工知能）を活用したビジュアルカスタマーアシスタンス・サービス**
 - ▶ 国内大手通信事業者に採用されるなど受注活動は堅調に推移

2021年3月期 業績予想

2021年3月期 業績予想

(単位：百万円)	2020年3月期 実績		2021年3月期 予想	
	金額	金額	増減額	増減率%
売上高	4,051	4,180	129	3.2%
売上総利益	1,513	1,521	8	0.5%
販売管理費	1,249	1,321	72	5.8%
営業利益	263	200	△63	△24.2%
経常利益	288	200	△88	△30.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	214	140	△74	△34.8%
為替レート（ドル）	108.75円	115.00円		
1株当たり当期純利益	13円03銭	8円44銭		
年間配当金	5円00銭	5円00銭		
配当性向（連結）	38.4%	59.2%		

ご参考 売上高・営業利益の推移（最近5カ年）



決算期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
売上高	2,639百万円	2,434百万円	3,221百万円	3,660百万円	4,051百万円
営業利益	26百万円	△105百万円	166百万円	244百万円	263百万円
営業利益率	1.0%	-4.3%	5.1%	6.6%	6.5%



[免責事項]

- 本資料は、業績の進捗状況の参考となる情報提供のみを目的としたものであり、投資等の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願いします。
- 本資料はできる限り細心の注意をもって作成されておりますが、その完全性についてテリロジーは責任を負うものではありません。
- また、本資料を判断材料とした投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。
- 本資料中の予想または計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等今後様々な要因によって予想または計画数値と異なる場合があります。

【お問い合わせ先】

広報宣伝・IR担当
TEL:03-3237-3291
E-mail : ir@terilogy.com